



明政会
さいじょう
西條
とみひろ
富雄

市内の交通インフラ整備

その他の 質問事項

- ▼ ウイルス感染防止に「非接触ごみ収集」等、衛生的仕組みづくりについて
- ▼ ウイルス感染予防対応で負担増の保育士への慰労金支給について

◆循環型社会推進基金を併用して、防犯灯のLED化推進について

問 塩尻市森林公社からの寄附による循環型社会推進基金を併用して、市内防犯灯・約7100基のLED化40%からその後の進捗率は。

答 今年度は523灯の補助要望を受け、LED化改修がおおむね実施済みで、51%超の見込み。
(地域振興課)

◆松本歯科大学東交差点の整備について

問 塩尻市総合体育館の完成後渋滞予測される交差点整備の進捗状況と、整備着工上の問題点は。

答 用地測量と支障物件の移転補償額の算定が終了し、今後は用地補償額の提示等個別交渉に入る状況である。ガソリンスタンドの移転は松塩水道管が埋設されている市道を残した中で行わなければならない等の問題点が

あるが、今後、ブドウ棚や木の移設等を進めていきたい。

引き続き長野県公安委員会へ信号機設置の要望を行い、鋭意事業進捗を図っていく。

(建設課)

問 最優先の重点ポイントとの答弁で、湯之氣の坂からの市道改良において、地権者の同意を得た部分を、待避所拡大式で道路拡幅の進捗状況は。

答 一部を砂利道で拡幅して園児を送迎中の女性から感謝され、舗装要望も直接言われた。市民の希望を市政に反映し、市内業者への経済効果も併せるので、暫定舗装するよう指示を出す。

(市長)



湯之氣の坂下の市道の砂利道部分

新型コロナウイルス感染対策に関連して

その他の 質問事項

- ▼ 少人数学級の推進について
- ▼ 国保税、介護保険料などの減免について

◆コロナ禍と食料自給率

問 コロナ禍のもと食料の6割以上を外国依存している日本の現状を市長はどう考えるか。

答 外国からの食料が止まってしまうことは考えられる。その時には節約することが必要であり、現状の自給率のもとでもなんとか生きていくことはできると考える。
(市長)

◆PCR等検査について

問 医療機関、介護、福祉施設、保育園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設の職員などにPCR等検査を実施すべきではないか。

答 介護や福祉等に携わる方を対象にした予防的な検査は、検査を行う機関の問題や継続した検査が必要になることなどから、必要性は認めるが現時点では公費による検査の実施は考えていない。

(福祉課)

◆介護報酬の特例措置

問 国からの通知で、通所サービスなどについて提供時間以上の算定が可能となり介護報酬の上乗せが可能となった。算定すれば利用者に筋違いの負担増や不公平が生じるおそれがあるが市内の事業所の状況はどうか。また市の考えはどうか。

答 通所系では約60%、短期入所系では約36%が算定の特例を適用している。介護報酬算定の根拠が明確でなかったり、公平性に問題があると考えられる。国によって十分な検証、検討を行っていただきたい。

(福祉課)



デイルーム